



舗装を改修



歩道橋の白い部分に柵を設置

★
舗装改修も同時に

榎木橋の歩道に安全柵

府・市の連携で実現

淀川区十八条と吹田市江の木町を結ぶ榎木橋の歩道に車道転落を防ぐ安全柵が取り付けられることが決まりました。同時に路面の舗装改修も実施されます。平成26年3月末までに完成する予定です。ご支援いただいた皆様に心より感謝を申し上げます。

これらは加治木一彦府議のところに寄せられた「歩道上ですれ違う際、車道側を通ると危ないと感じる」との声が始まりでした。この声を直接管理する府茨木土木事務所に伝え、府と管理費用を折半している大阪市が協議して改修が決まりました。

府・市決算委員会で活発な議論

＊ 大阪府議会、大阪市会でそれぞれ平成24年度の決算を審議する決算特別委員会が開かれています。杉田忠裕市議、加治木一彦府議はともに委員として質疑に立ち、活発な議論を展開しています。



加治木府議は7日に府民文化部と教育委員会、18日に健康医療部、福祉部、警察本部、21日に住宅まちづくり部、27日に財務部と政策企画部の決算について質疑をしました。



杉田市議は6日、他都市で先行事例のある公立図書館を民間事業者に管理を任せる「指定管理者制度」などについて質疑をしました。市からは同制度の導入を前向きに検討していきたいとの答弁がありました。

決算委員会はその年度のお金の使い方や事業の効果を検証する重要な委員会です。それぞれの自治体の仕事ぶりが適正なものになるよう議論を深めていきます。



西三国3の私道で舗装改修

西三国3丁目9番と17番の間を南北に走る私道約100メートルの舗装が改修され、このほど杉田忠裕市議と加治木一彦府議が現地を確認しました。

舗装改修は22年11月、地域より要望があり、杉田市議が大阪市に働きかけていました。何度か早期着工の要望をし、25年7月に完成しました。ここは商店街等へ行く道路であり、雨天の日など歩きにくい状態でしたが、きれいに舗装され、近所の方々も大変喜んでいました。



完成を喜ぶ地域住民の皆さん

支部党員研修を開催

人と防災未来センター 下水道科学館を見学

11月3日、淀川支部党員研修として「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」（神戸市中央区）、「大阪市下水道科学館」（此花区）を訪問しました。

人と防災未来センターでは、阪神大震災当日の様子を映像と音響で再現した「1.17シアター」を体感、震災直後の街並みを再現したジオラマなどを見学しました。住んでいた家が倒壊したという語り部の男性は災害への備えの大切さを熱く語ってくれました。

下水道科学館では、大阪市の下水道の歴史についての説明を受けた後、館内を順に見学、地球をめぐる水」と題

した立体映像のビデオを見ました。実際に水滴が飛んでくると見えた映像に多くの人が歓声を上げていました。

当日はあいにくの天気でしたが、無事故で終えることができました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。



午前5時46分で止まった時計



塚本、田川、加島、三津屋、十三、新高地区連合の皆さん



淀川、三国、東三国、三国本町、新大阪地区連合の皆さん

この一年のご支援に心から感謝